

# 鹿児島港臨港道路(鴨池中央港区線)の 護岸工事が始まります



国土交通省 九州地方整備局  
鹿児島港湾・空港整備事務所

撮影：令和3年4月

## ■ 事業目的

南北約20kmに渡る鹿児島港において、港内の円滑な港湾物流の確保と周辺道路の交通混雑の緩和を目的として、鴨池港区から中央港区間に臨港道路をつくる事業を実施します。

## ■ 護岸とは

波や高潮による侵食から陸地を守る役割を担っています。

## ■ 現地工事着手のご報告とご理解・ご協力をお願い

このたび、県立鴨池緑地球技場の海側約720m護岸の内、約40m区間に工事着手することになりました。

工事はほぼ全ての工程が海上での作業となります。  
(作業イメージについては裏面をご参照下さい。)

**作業期間中は、騒音振動などが極力でないように周辺環境に配慮して作業を行います。**

**地域の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、何卒、ご理解、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。**

## 令和3年度の作業工程表

※ 工程は、天候・海象等により多少前後することがございます。

	令和3年								令和4年		
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
構造物撤去工	■	■									
基礎工		■	■	■	■	■					
本体工				■							
被覆・根固工(※)							■	■	■		
上部工							■				
消波工									■		
後片付け工										■	

(※)被覆・根固工は、裏面で紹介している基礎工、本体工と同様に、ブロック据付、石材投入及び均しの作業になります。

# 今回の護岸工事の位置と作業イメージ



国土交通省 九州地方整備局  
鹿児島港湾・空港整備事務所  
撮影:令和 3 年 4 月

## 護岸工事の作業イメージ

**構造物撤去工**  
既設消波ブロック撤去

潜水土により消波ブロックにワイヤーを括り付け、起重機船という作業船により撤去し、別の場所に一時的に仮置きします。

**基礎工**  
基礎捨石投入 捨石均し

護岸を支える基礎マウンドを作るため、潜水土の指示のもと、ガット船という作業船により、海上から捨石(石材)を投入します。

投入された捨石(石材)は、潜水土により所定の高さになるよう均し作業を行い、デコボコの少ない平坦な基礎マウンドに仕上げます。

**本体工**  
本体ブロック据付

別の場所で製作した護岸の本体ブロックを起重機船で運搬し、潜水土の指示のもと所定の位置に据え付けます。

**本体工**  
中詰石投入

護岸の本体ブロック据付後、ガット船にてブロックの中に重しとして石材を投入します。投入完了後、人力にて石材の均しを行います。

**上部工**  
上部コンクリート打設

アジテータ車(生コン運搬車)とコンクリートポンプ車を起重機船に積み込み、海上運搬します。現地で護岸本体の上に更にコンクリートを打設します。

**消波工**  
消波ブロック据付

一時的に仮置きしていた消波ブロックを、潜水土の指示のもと、新しく設置した護岸の前面に設置します。

**工事受注者**

株式会社 渡辺組  
鹿児島港臨港道路作業所  
現場代理人: 宮ヶ迫 博美  
監理技術者: 面高 雅文  
TEL: 099-297-5811

**発注者**

国土交通省  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
九州地方整備局  
鹿児島港湾・空港整備事務所  
TEL: 099-223-3296